

**独立行政法人住宅金融支援機構契約監視委員会（第2回）
審 議 概 要**

開催日及び場所	令和元年12月11日(水) 住宅金融支援機構本店14階会議室
委員長 委員 (以上、敬称略)	若杉 敬明 (ミシガン大学ロス・ビジネススクールミツイライフ 金融研究所共同所長) 内山隆太郎 (東京共同会計事務所 公認会計士) 楠 茂樹 (上智大学大学院法学研究科教授) 中村 里佳 (さくら総合事務所 公認会計士) 齊藤 隆弘 (監事) 船越 恵子 (監事) 高野 寿也 (監事)
審議対象	○「令和元年度独立行政法人住宅金融支援機構調達等合理化計画」 における5(2)理事長が定める基準【令和元年度上半期契約分】 ・新規の競争性のない随意契約 ・一者応札・応募となった案件
審議概要	○事務局より定足数の確認が行われた。 ○平成31年4月から令和元年9月までに締結した新規の競争性の ない随意契約及び一者応札・一者応募となった契約について、全 ての契約の内容及び改善策等を記載した資料に基づき審議が行 われ、原案のとおり了承された。

●令和元年度上半期（平成31年4月から令和元年9月）までに締結した契約に関する質
疑応答

(1) 新規の競争性のない随意契約

審議案件
2021年度新卒採用学生向け「マイナビ就職EXPO」への参加

意見・質問	回答
(特になし)	(特になし)

(2) 一者応札・一者応募となった契約

審議案件	機構の対応
証券化システム運用等業務	一者応札が継続していることから、参加 確認公募による調達を検討する。
総合オンラインシステムの改修（平 成31年度第一次制度改正・機能改善 ）業務	一者応札が継続していることから、参加 確認公募による調達を検討する。
住宅金融支援機構北海道支店の電力 の需給	考えられる改善策は実施済みであり、更 なる改善は困難。
住宅融資保険システム等の運用管理 及び保守業務	一者応札が継続していることから、参加 確認公募による調達を検討する。
企業信用調査業務	考えられる改善策は実施済みであり、更 なる改善は困難。
住宅金融支援機構東北支店換気設備	事業者への積極的な働きかけを行う。

更新工事	
Webによるトナーの調達	考えられる改善策は実施済みであり、更なる改善は困難。
東北支店（仙台市）事務所清掃管理業務等委託	考えられる改善策は実施済みであり、更なる改善は困難。
住宅ローンの信用リスク計測手法の高度化に係るコンサルティング業務	事業者への積極的な働きかけを行う。
宅配便及び封書サービス便の運送業務	考えられる改善策は実施済みであり、更なる改善は困難。
Webによる事務用品の調達	考えられる改善策は実施済みであり、更なる改善は困難。
募集委託契約（第45回住宅金融支援機構財形住宅債券）	選定方法について見直しを検討する。
住宅金融支援機構宿舍加圧ポンプ交換工事	十分な公告期間を確保する。
情報セキュリティアドバイザー等業務	十分な公告期間を確保する。
募集委託並びに債券保管委託及び元利金支払事務委託契約（住宅金融支援機構債券区第20回）	次回以降も参加確認公募により、調達する予定である。
タブレット端末更改調達業務	次回以降も参加確認公募により、調達する予定である。
資産自己査定システムに係る地価データの納入業務	次回以降も参加確認公募により、調達する予定である。

意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 項番7について、プリンタトナーが複数メーカー複数種類ということだが、同一メーカー、同一機種 of プリンタをまとめて調達すれば良いのではないか。 ・ 項番8について、案件によって違うとは思いますが、金額的に見合わないという理由で参入しないということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部署が各々の用途に応じて、その都度プリンタを調達しており、その都度安いものを買っていくことで現在の状況に至っている。 ・ 各部署での需要を踏まえて、まとめられるものはまとめて調達しているが、タイミング的に困難な場合もある。 ・ 従来は、プリンタトナーも各部署が各々調達していたが、本件により調達窓口を一本化したことが現時点での到達点である。 ・ 清掃要員の確保が難しくなってきたのが、参入できない主な要因ではないかと推察される。

● 情報共有事項

次の1～3の事項について情報共有が行われた。

- 1 参加確認公募制度の有効活用について
- 2 不落随契交渉等における予定価格の公表について
- 3 契約審査委員会設置規程改正事項

1 参加確認公募制度の有効活用について

意見・質問	回答
(特になし)	(特になし)

2 不落随契交渉等における予定価格の公表について

意見・質問	回答
公表の必要性がある案件は、どのくらいの頻度で起こっているのか。	頻繁にそのような案件が発生しているわけではないが、そのような状況が発生した際に、交渉を促進させる材料が必要と考えており、今回このような検討をしているところ。

3 契約審査委員会設置規程改正事項

意見・質問	回答
(特になし)	(特になし)

以上